

フランスの風 パリの香り

2017/ 7/17 月・祝

19:00 開始 (18:30 開場)

フェリスホール

リオネル・アヴォさんは、オルガニストであると同時にラジオフランスの音楽アドバイザーも務め、2014年にオープンしたコンサートホール「ラジオフランス・オーディトリウム」のオルガンコンサートの企画を手がけています。パリのコンサートシーンの第一線で活躍するアヴォさんが語る、フランス・オルガン音楽の「今」。ルイ・クーブランから日仏の現代作品に至る多彩な曲目の演奏もお楽しみください。

L. クーブラン：前奏曲

G. フレスコバルディ：ベルガマスカ

Y. ラファルグ：「組曲」より エクトル・ベルリオズのモティーフによる前奏曲

J.S. バッハ：ピエス・ドルグ BWV 572

「バビロン川のほとりで」BWV 653、「装いせよ、おお愛する魂よ」BWV 654

坂本日菜：「最愛なるイエスよ、私達はここにいます」

*レクチャー通訳：太田朋子（声楽／音楽学部演奏学科非常勤講師）

講師：リオネル・アヴォ（Lionel Avot / オルガン）

幼少の頃からピアノを学ぶ。フランス第九大学で文化活動マネジメントを学んだ後、23歳でオルガンを始めた。ジャン・ボワイエとの出会いに決定的な影響を受けた。1988年よりリール地方音楽院に学び、高等課程でオード・ウルトゥマットに師事して金メダルを獲得。1998年、ハーレムのセザール・フランク国際オルガンコンクールで第3位。ビアリッツおよびリリアンのヴィリニユスのコンクールでも入賞した。パリのノートルダム大聖堂、サン＝シュルピス教会をはじめ、ボルドー、リヨン、リガ、リュネベルクなど国内外各地の教会にしばしば招かれて演奏している。2014年には、日本を愛してたびたび訪れた恩師ジャン・ボワイエの没後10年を記念して日本でコンサートツアーを行い、東京オペラシティコンサートホール、サントリーホールなどで演奏した。また、現代音楽の初演も数多く手がけている。2011年、トゥールーズのダルバードのノートルダム教会でセザール・フランクを録音して初のCDをリリース [Hortus Edition]。パリのエトワール教会で副オルガニストを務め、日曜コンサートシリーズの企画も手がけている。後進の育成にも情熱を傾けており、ジャン・アラン音楽院の教授を務めると共に、毎年夏にはムジカルタ音楽アカデミーでも教えている。2014-2015年には、リヨン地方音楽院で1年間教鞭をとった。2015年よりラジオフランスの音楽アドバイザーを務め、ラジオフランス・オーディトリウムのグレンツィング・オルガンをを用いたコンサートの企画を担当している。



受講料(全席自由)

一般：¥1,000 | オープンカレッジ生・卒業生：¥500

高校生以下、本学学生・教職員：無料

【交通のご案内】〒231-0862 神奈川県横浜市中区山手町 43-2

・JR 京浜東北根岸線『石川町』駅 南口より徒歩約10分

・みなとみらい線『元町・中華街』駅 5・6番出口より徒歩約10-15分

お問合せ・お申込み

フェリス女学院大学 音楽学部 共同研究室 (山手キャンパス 8号館)

☎ 045-641-8396 (平日 9:00 ~ 17:00) ✉ ongaku-y8@ferris.ac.jp

🌐 www.ferris.ac.jp (大学公式) 📘 [www.facebook.com/Ferris Concert](https://www.facebook.com/Ferris-Concert) (演奏会情報 facebook ページ)

主催：フェリス女学院大学音楽学会 共催：音楽学部・大学院音楽研究科 企画：演奏学科

